

# futbol y vida



Poco a poco ...  
Poco a poco ...

待ちに待った高校生活がスタート!!  
「志」と「覚悟」を持って挑戦せよ!!

## 高校サッカー部の生活から二週間が経過 !!

## 三年後の都大会出場&地区トップリーグを目指しトレーニングスタート!!

### 片倉高校へご入学おめでとうございます!!

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、7月2日（木）より三か月遅れで、分散登校から全員揃っての授業がスタートし、学校も徐々に平常を取り戻しているところです。片倉高校での学校生活に、期待に胸を膨らませているところで肩透かしを喰らったようなスタートとなりましたが、高校三年間を子どもたちが有意義に過ごせるよう教職員全員で応援、サポートしていきたいと思います。また、高校生活におきましても、今まで同様、保護者の皆様のご理解・ご協力は必要不可欠となりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

### 新入生のはじめの一步は、「正しい姿勢と身体づくり」&「挨拶と声出し、感謝の気持ち!!」

さて、一年生はサッカー部の説明会の翌日からトレーニングをスタートしました。まずは、臨時休校で自粛期間中に鈍った身体を目覚めさせることと現代っ子特有の硬い股関節周りの柔軟性を高めるため、スポーツ（サッカー）に適した**正しい身体づくり**をメインに行っています。特に、子どもたちにはトレーニングの中で自分自身の身体とのやり取り（**身体と会話する**）を大切にさせながら、サッカーに必要な身体の使い方＝（**イコール**）のケガをしない身体づくりの獲得を目指して、じっくりトレーニングに取り組んでいきます。今までの生活習慣（特に**姿勢**ですね）もあるので直ぐには修正できませんが、“**継続は力なりの精神**”で時間を掛けて**いい習慣**に変えていきたいと思っています。

そして、最初のミーティングでも子どもたちには時間を賭けて大切な話をしましたが、部活動はサッカーをするだけでなく、挨拶や返事、感謝の気持ちなど礼儀を学び、鞆や靴の荷物の整理整頓や共用場所の清掃と大切な道具の管理などを躾け、習慣付け、身に付けさせていくことも大切な役割です。この両輪をバランス良く指導し、子どもたちがサッカー部の活動を通して大きく成長できるように、スタッフ一同粘り強く関わっていききたいと思います。

### 目指せ、高校サッカースタンダード!!

いよいよ今週末から、待ちに待ったトレーニングマッチ（TRM）がスタートします。勝負はもちろん大切ですが、自分の現在地を確認するには、ゲームは最高のトレーニングです。また、強豪校とのTRMを通して多くのことを学びます。**高校サッカーのスタンダード**を目指し、まずはグラウンド内外での彼らの振る舞いを是非見習って欲しいですね。強豪校と呼ばれるチームは、サッカーだけではなく、人としてもバッチリ鍛えられています。当然、サッカー推薦や真剣に「全国」を目指して入学してきている子どもたちの数が多いので、今は前段階のところから差はありますが、片倉高校サッカー部一年生はここからスタートです！高校サッカーの厳しいトレーニングやゲームを通して、サッカー面はもちろんのこと、人としても大きく成長してもらいたいと思っています。



< 経験豊富なコーチング・スタッフによる指導で、高校サッカーの扉を開ける!! >



### <After the Game>

サッカー通信創刊号が完成しました。この通信を通して、サッカー部の日頃の活動等の情報源として少しでも保護者の方に伝われば幸いです。今後も定期的(月に二回程度)に発行していきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします(カラー印刷機がないのでモノクロですみません)。

また、今年度は、10年ぶりに担任業務から外れてしまいました。そのため多少時間ができましたのでホームページ作成などにもチャレンジしていこうと考えています。完成した暁には、改めてご連絡いたしますのでもうしばらくお待ちください。

長いようで短いのが高校の三年間です。子どもたちがサッカー部の活動を通して充実した高校生活を送ることができるように、スタッフ一同精いっぱい努力していきますので、サッカー部の活動にご理解・ご協力宜しくお願いいたします。

尚、一年生保護者会のアンケート集約中です。全員参加が望ましいのですが、ご希望に添えないこともあると思います。申し訳ありません。もうしばらくお待ちください!!

今回発刊したサッカー通信の題名(スペイン語)の「*futbol y vida*」は、「フットボールと人生」、サブタイトルの「*poco a poco*」は、「少しずつ」という意味です。現在、福岡県糸島市で幼稚園の園長先生をしている友人(若かりし頃は南米数か国でサッカー行脚)に、サッカー通信のネーミングを依頼し、この題名に決まりました。期待に応えてくれました。彼の羨ましいくらいの波乱万丈なライフスタイルについては、またどこかでご紹介します。

元日本代表監督である、イビチャ・オシム氏(ボスニア)は「フットボールは人生に似ている」と話していました。彼の多くの格言は心に響くものばかりです。子どもたちが、サッカー部の活動を通して多くのことを学び、この先の人生の糧になって欲しいと願っています。そして、少しずつではありますが、今は高校サッカーのスタンダードを目指して、ゆっくり動き出していきたいと思っています。

<元代表監督オシム氏の格言は人生に活かされる>

